

衛星データと数量化分析を用いた山地斜面の崩壊予測

広島工業大学大学院 学生会員 〇胡 隆之

広島工業大学工学部 正会員 島 重章

1. はじめに

わが国は、急峻な地形や脆弱な地質・地盤に覆われ、毎年多くの自然災害に見舞われている。自然災害のなかで特に、気象災害による山地崩壊や土石流などが多発し、人的・物的損失を被っている。

このような、災害の多発

3. 数量化分析第Ⅱ類の適用とその結果

本研究では、斜面崩壊の危険箇所を予測するために、多変量解析の中から判別分類を行うことを目的とする数量化分析第Ⅱ類を適用した。なお、表 1 に示すアイテム/カテゴリーは、重回帰分析によって得られた地盤情報である。また、数量化分析第Ⅱ類では、危険度を評価する基準となる外的基準を決める必要がある。ここでは、外的基準に傾斜区分と土砂厚区分を用いた 2 つの判別画像を作成し